

2012年8月9日

報道関係者各位

No.60124

株式会社東陽テクニカ

MISRA 適合度評価用ツールの第三者評価において PRQA 社の静的解析ツール QA・C が首位を取得

8種類の市販ツールに対する比較評価において、QA・Cの優位性が明確に！

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区・社長：五味 勝）は、当社取扱い製品である英国 Programming Research（以下、PRQA）社製品 ソースコード静的解析ツール QA・C8.0 と MISRA-C:2004 適合度評価モジュールが、MISRA-C 適合度評価用ツールの第三者比較調査において、8種類の競合製品のすべてを上回る評価を獲得したと発表しました。

*ソースコード： 人間がプログラミング言語を用いて記述したソフトウェアの設計図。

*MISRA C： MISRA が出版した、C 言語ソースコードの品質を高めるためのガイドライン。MISRA は、英国に本部があるソフトの信頼性を高める研究を行っている団体。

Karel de Grote University College の研究チームによって5月9日に発行された TERA-Labs による最終報告書では、QA・C と競合製品との比較評価の結果、ほぼすべての調査項目において QA・C が最高評価を獲得し、総合評価でも1位に選ばれています。

*TERA-Labs： Karel de Grote University College(ベルギー、アントウェルペン)の研究部門。自動車から分散コンピューティングまでの幅広い分野に渡り、主に組込みアプリケーションに関する研究を行っている。 URL：<http://www.iwt-kdg.be/teralabs/>

22か月間に及ぶ調査の最後には、特定の MISRA-C:2004 コーディング規約違反を意図的に含んだ複数のテストケースを用いて、各ソフトウェアツールが MISRA-C コーディング規約違反をどれだけ検出できるかについて評価が行われました。

TERA-Labs はパートナー企業のパネリストと協力して典型的な MISRA-C コーディング規約を選び、それらの規約に違反するコードの検出能力を、8種類の主要な市販ツールに対して評価しました。具体的には、誤検出(ノイズ)と未検出(規約に準拠していないコードの未検出)に関する、各ツールの性能を評価しました。

今回の調査結果について、PRQA 社の CEO である Paul Blundell 氏は次のように述べています。「評価対象とされたすべてのツールの中で、QA・C が最も高い評価をいただけたことをうれしく思います。誤検出(ノイズ)を生成することなくすべての規約違反を検出し、他のツールが検出できなかった重要なコードの欠陥を見つけることができました」

また、TERA-Labs の Marijn Temmerman 博士は次のように述べています。「今回選んだすべての製品が包括的な MISRA 適合度評価の提供を謳っていますが、現実は違います」

QA・C は、静的に検出可能な不具合、C 言語の脆弱性に基づく規約違反のコード、その他のコーディングに関する問題の抽出と解決に特化した完成されたソフトウェア・ツールチェーンです。特に、組込みソフトウェアまたはシステムソフトウェアの開発に携わる様々な産業において採用されている MISRA-C コーディング規約の適合度評価において優れた性能を発揮します。

80 ページに及ぶ調査報告書の完全版は、以下のリンクからご確認いただけます。

<http://www.iwt-kdg.be/teralabs/sites/default/files/KricodeResearchreportV3Latest.pdf>

調査報告書の要約版(10 ページ)は、以下のリンクからご確認下さい。

www.programmingresearch.com/resources/white-papers/

[英国 Programming Research 社について]

PRQA は 1986 年に創立され、業界内で「コーディング規約の専門家」として認識されています。PRQA はコーディング規約検証ツールを初めて開発し、現在ではその専門技術を、業界随一のソフトウェア検証および規格準拠検証のテクノロジーを通して、世界中に普及させています。PRQA の事業所は英国、米国、インド、アイルランド、およびオランダにあり、その他世界中に流通ネットワークが構築されています。

PRQA の業界トップツールである QA・C および QA・C++ は、C と C++ のコードを可能な限り厳密に検証します。両製品は、高品質な言語の解析と理解を提供する、強力かつ固有の構文解析エンジンを含みます。これらのツールは、言語の用法が危険であるか、過度に複雑であるか、移植性がないか、保守が困難であるために生じる問題を特定します。さらに、コーディング規約への準拠に必要な基本ビルドブロックが含まれています。

英国 Programming Research 社に関する詳細は www.programmingresearch.com をご覧下さい。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を内外の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jp をご覧下さい。

英国 Programming Research 社製製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : ss_sales@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ 経営企画室

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : kikaku@toyo.co.jp

*記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。